

令和7年度 第2回 区長定例記者会見

令和7年9月3日



目 次

補正予算に関するもの

- ✓葛飾の防犯力のさらなる向上のために（地域安全活動支援事業）
.....1億1,000万円 P3
- ✓子育てしやすい環境づくりをさらに進めます（子育て家庭家事サポーター派遣事業等）
.....5,000万円 P4
- ✓【区×事業者】 高断熱で“住みよさ”を届けます（省エネ住宅等普及促進事業）
.....150万円 P5

その他

- ✓行政特化型AIエージェントシステムを窓口を導入（デモプレイ実施） P6

補正概要

単位:千円

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	補正額 B の財源内訳	
	A	B	C (A + B)	特定財源	一般財源
一般会計	261,431,815	7,155,962	268,587,777	495,614	6,660,348
国民健康保険事業特別会計	48,850,000	525,608	49,375,608	0	525,608
後期高齢者医療事業特別会計	12,174,000	70,747	12,244,747	0	70,747
介護保険事業特別会計	47,271,000	998,899	48,269,899	11,050	987,849
合 計	369,726,815	8,751,216	378,478,031	506,664	8,244,552

葛飾の防犯力のさらなる向上のために

事業名

地域安全活動支援事業
防犯対策の強化

予算額

110百万円

ここに注目

◆区内12駅の駅前や主要道路にクラウド型ネットワークカメラを新たに設置し防犯を強化します。

◆今年度から個人宅での防犯設備設置における補助金の上限額を引き上げ、好評につき拡充します！

事業概要



(1) 区設置の駅前等街頭防犯カメラ設備 (2,026万円)
駅前20か所・主要道路40か所に『区』が新たに設置します。今年度は駅前20か所の設置を完了予定です。
また、災害発生時には現地の状況確認のための活用も想定しています。



(2) 住まいの防犯対策助成 (9,000万円)
個人住宅に防犯設備（録画機能付きドアホン、防犯カメラ、防犯性の高い錠等）を設置する際の費用を補助するものです。**今年度から補助上限を引き上げたこともあり、申請多数のため拡充します！**

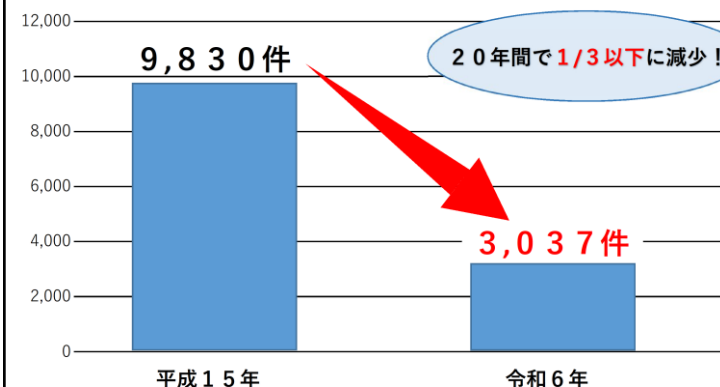
令和7年4月1日以降に
購入・設置した防犯設備が対象

上限4万円
→**上限6万円へ**(1/2補助)

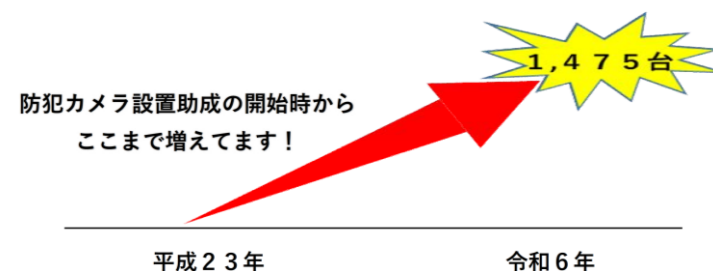
ねらい

個人宅が設置する防犯設備や、自治町会・商店会が設置する防犯カメラによる防犯強化に加え、人が多く行き交う駅前や主要道路へ新たに区が防犯カメラを設置することで、さらなる安全・安心のまちづくりを進めます！

葛飾区内の犯罪発生件数



自治町会・商店会の防犯カメラ設置台数



生活安全担当課長 三山 寛
連絡先 070-6475-5824

子育てしやすい環境づくりをさらに進めます

事業名

①子育て家庭家事サポーター派遣事業
②区立・私立幼稚園等における弁当食材料費助成

予算額

50百万円

ここに注目

- ◆子育て家庭家事サポーター派遣事業の助成対象者に単胎妊婦を加えるとともに、利用上限時間数を拡充！
- ◆区立・私立幼稚園、認定こども園に通う園児の保護者に対して、弁当食材料費を助成！

ねらい

子育て世帯への負担を軽減するため、現行の家事サポーター派遣事業の拡充や、園児の保護者に対して弁当食材料費の助成を行い、子育てしやすい環境を整備していきます。

①子育て家庭家事サポーター派遣事業の対象者及び利用上限時間数の拡充について

	子の年齢・人数	現行	拡充後
第一子家庭	妊婦～0歳	60時間 (0歳のみ)	妊婦又は3歳未満の子ども の人数×96時間 
	1歳	20時間	
	2歳	20時間	
多子家庭	0歳と3歳未満	180時間	
	0歳と3歳以上	60時間	
	1歳と3歳未満	40時間	
	子の年齢・人数	現行	拡充後
多胎児家庭	多胎妊婦～0歳	240時間	「240時間」と「妊婦又は3歳未満の子ども の人数×96時間」を比較して多い時間
	1歳	180時間	
	2歳	120時間	

実施時期 令和7年10月

②区立・私立幼稚園の弁当食材料費も助成します



補助対象

弁当を持参する区立幼稚園、私立幼稚園及び認定こども園に通う園児の保護者

補助対象者数

区立幼稚園 30人
私立幼稚園等 1,332人

補助金額

一日あたり 400円
(月額上限8,000円)

実施時期

令和7年9月

①子育て応援課長
熊田 寛子

080-4956-3237

②子育て施設支援課長
中安 祥之

080-7402-1090

【区×事業者】高断熱で“住みよさ”を届けます

事業名

省エネ住宅等普及促進事業経費

予算額

1.5百万円

ここに注目

省エネ基準
適合義務化

- ◆改正建築物省エネ法の施行に伴い、区民に制度を知ってもらう必要あり！
- ◆また、今後(2030年)求められる水準(ZEH水準)が引き上げられるため、より普及促進が求められる。

事業概要

「かつエネ連絡会」(かつしか省エネ・再エネ健康住宅普及促進連絡会)と連携し、普及啓発イベントを実施！

【日時】：令和7年11月22日(土)午前11時～午後4時

【場所】：にこわ新小岩(葛飾区西新小岩4-33-2)

【人数】：約300人 【対象】：区民

【内容】：高断熱部材等の展示、相談会、講演会、セミナー等

【基調講演／講師】

福田吉治氏(帝京大学大学院 公衆衛生学研究科教授・研究科長)

藤野純一氏(地球環境戦略研究機関プログラムディレクター)

竹内昌義氏(東北芸術工科大学教授)

【体験・展示】 ●断熱性能体験 ●新築・改修事例の紹介 ●再生可能エネルギーの展示 等

【その他】 ●ソーラーカーを作ろう ●親子で防災クイズ 等

ねらい

区内事業者で構成される「かつエネ連絡会」と連携することで、区民の制度理解を促進させていく。

「かつしかエコ助成金制度」

「ゼロエミッションかつしか」の実現に向けて、再生可能エネルギーの利用促進や省エネに配慮した設備などの導入費用の一部を助成しています。令和7年度は太陽光発電システム、蓄電池、家庭用燃料電池、V2H、HEMS、宅配ボックス、高反射率塗装、断熱改修、電気自動車、高断熱住宅などを助成の対象とし、より省エネ性能の高い住宅等の普及拡大を図っています。



建築課長 秋元高志
連絡先 070-6466-6109

行政特化型 A I エージェントシステム 概要

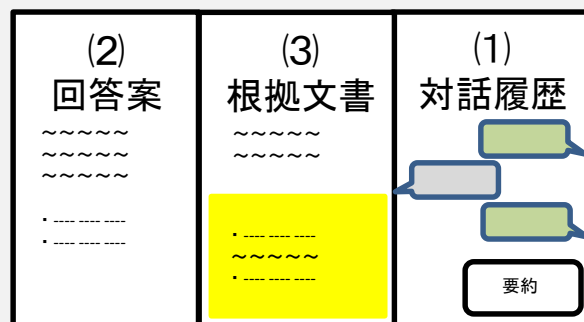
窓口の会話をマイクを通じて音声認識し、リアルタイムに回答案を生成する仕組みを構築。令和8年度中に導入予定。

窓日利用イメージ



実際のPC画面(デモ動画)

【実際のPC画面（イメージ図）】

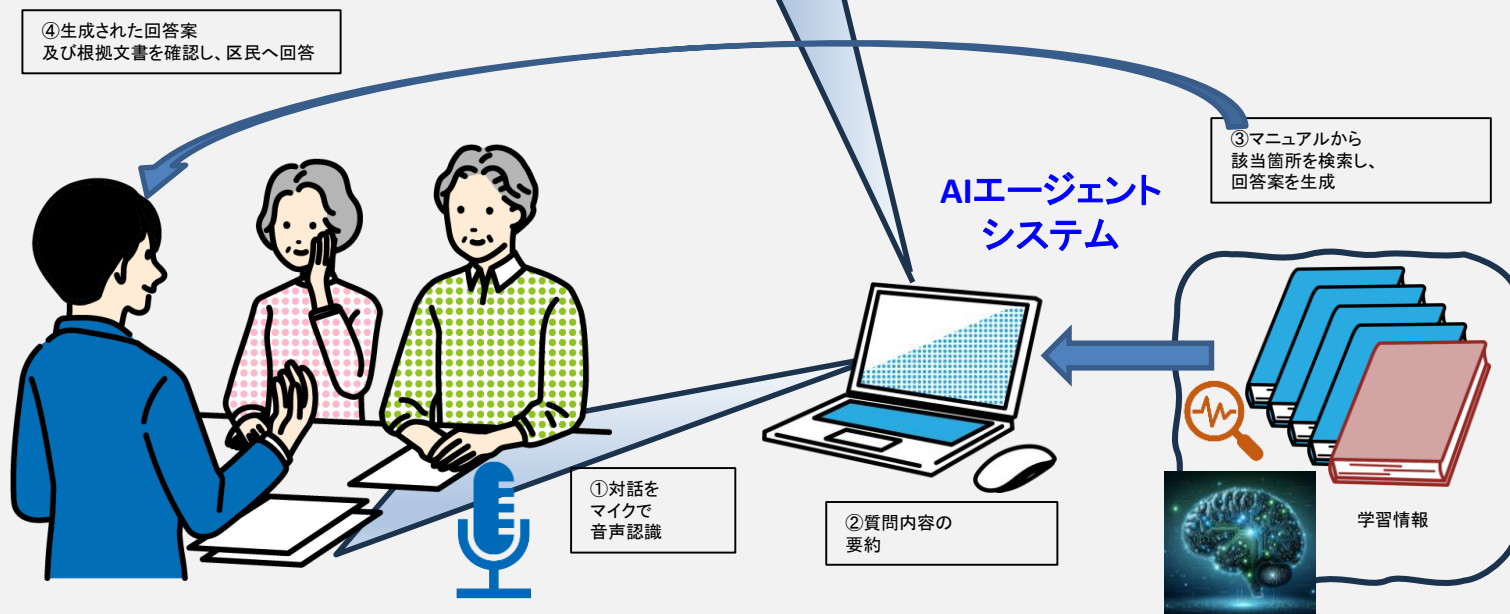


●回答生成の流れ

- ①窓口対応職員と区民の対話をマイクが音声認識し、「(1)対話履歴」画面にやり取りが表示されます。
- ②表示された対話履歴をもとにAIが質問を要約します。
- ③要約された質問を送信すると、学習情報の中からAIが該当箇所を探し、「(2)回答画面」に回答案を表示します。
- ④AIの回答案が、どこのマニュアル・書籍をもとに生成されたのか「(3)根拠文書」画面で表示されます。根拠文書を確認することで、職員が区民に適切な回答を迅速に行うことができます。

●学習情報について

- ①内部業務資料
葛飾区例規集や葛飾区基本計画、
契約や会計事務の手引き等38種。
②窓口業務マニュアル
戸籍住民課及び区民事務所マ
ニュアルのほか、区民事務所で扱
う国民健康保険や子育て関連業
務等のマニュアル。
③出版社の書籍データ
戸籍住民課で使用している住民
異動や戸籍届出業務に関する書
籍のデータを9冊分。



行政特化型 A I エージェントシステム ここが凄い！

ポイント

01 2つの全国初！

- ①窓口でのやり取りに、音声認識による業務 A I を取り入れた事例は全国初！
- ②行政事務の出版物を窓口音声認識による業務 A I に取り入れた事例は全国初！

02 A I による要約機能

音声が入力された文字に変換されない場合や、本題に関係のない会話が含まれていても、会話の流れ全体をもとに A I が質問内容を要約します。

03 窓口職員のサポート

窓口で会話をしながらマニュアルを確認し、回答を行えるため、窓口職員のサポートとしての役割が期待できます。

04 窓口サービスの向上

各窓口のマニュアルを学習させることで、窓口で対応できる幅が広がるほか、A I が質問内容をもとに回答案を提示してくれるため、書籍やマニュアルを探す時間が不要になり、業務効率を向上させます。

05 指向性マイク

窓口では周りの声が騒がしく、通常のマイクでは対話をクリアに聞き取ることが難しいと考えたため、指向性マイクを採用しました。